

第2次補正予算案の閣議決定に際して

一般社団法人 関西経済同友会
代表幹事 角元 敬治

- 本日、令和4年度第2次補正予算案が閣議決定された。コロナ禍からの回復の足取りが重く、エネルギー・食料価格急騰の影響を大きく受けている世帯に対する支援が迅速に届くことを期待する。
- 一方で、今回の補正予算もまた、その財源の多くを赤字国債で賄うことになる。既に政府債務残高は対GDP比260%を超えており、将来世代の収入に依存した「ツケ払い」によって現世代の政策を実施する構造には限界がある。
- 令和2年度の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う全世帯への一律給付に対して「ばらまき」との指摘もあった。それから2年以上が経過するものの、真に必要とする方々に、十分な支援を届ける仕組みが未だ構築されていない。岸田政権のリーダーシップの下、速やかに体制が整備され、この課題が解決されることを強く望む。

以 上